

2-Lesson 3

I can swim.

- 単元目標**
- ・積極的に友達に「できること」を尋ねたり、自分の「できること」や「できないこと」を答えたりしようとする。
 - ・「できる」「できない」という表現に慣れ親しむ。
 - ・言語や人、それぞれに違いがあることを知る。
- 単元評価規準**
- ・「できること」や「できないこと」について、進んで尋ねたり紹介したりしている。
 - ・動作を表す語や「できる」「できない」という表現を聞いたり言ったりしている。
 - ・できるかどうか尋ねたり答えたりしている。
 - ・英語と日本語とでは、言葉の使い方が違うことに気付いている。
- 表現**
- I can/can't ～. Can you ～? Yes, I can./No, I can't.
- play, swim, cook, ride, piano, recorder, basketball, soccer, baseball, badminton, table tennis, unicycle

単元計画（4時間）

時	目標と主な活動	評価		
		コ	慣	気 評価規準＜方法＞
1	動作を表す語や「できる」「できない」という表現を知り、言語にはそれぞれに違いがあることに気付く。 ○「先生のできること・できないことを知ろう。」指導者のできることや、できないことについての話を聞く。 【P 1】「ポインティングゲーム①②」 ○「ジェスチャーゲーム」指導者のする動作を言い当てる。 【L】音声教材で、「できること」「できないこと」を聞いて、誌面の絵に○△を書く。			○ ・英語と日本語とでは、言葉の使い方が違うことに気付いている。＜行動観察・振り返りカード分析＞
2	動作を表す語や「できる」「できない」という表現に慣れ親しみ、できるかどうかを尋ねたり答えたりする表現を知る。 【P 1】「ポインティングゲーム①②③」can と can't の違いを意識してゲームをする。 【P 2】「Who am I?クイズ」 【C】“Can you swim?” ○「○×クイズ」		○ ○	・動作を表す語や「できる」「できない」という表現を聞いたり言ったりしている。＜行動観察・振り返りカード点検＞ ・動作を表す語や「できる」「できない」という表現を聞いたり言ったりしている。＜行動観察・振り返りカード点検＞
3	できるかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【C】“Can you swim?” 【A 1】「友だちのできること・できないことを予想して、インタビューしよう。」 ○「Who am I?クイズ」インタビューシートをもとにしたクイズに答える。 【A 3】「自分を紹介しよう。」自分ができることを考え、その絵をワークシートに描く。		○ ○	・できるかどうかを尋ねたり答えたりしている。＜行動観察・誌面点検・振り返りカード点検＞ ・できるかどうかを尋ねたり答えたりしている。＜行動観察・振り返りカード点検＞
4	自分ができることを考え、友達と積極的に交流しようとする。 【C】“Can you swim?” 【A 2】「友達にインタビューして、サインをもらおう。」 【A 3】「自分を紹介しよう。」誌面の絵を見ながら、音声教材を聞き、自分ができることを考え直す。ワークシートの絵に修正を加え、自分ができることを紹介し合う。		○ ○	・「できること」や「できないこと」について、進んで尋ねたり紹介したりしている。【コ】＜行動観察・誌面点検・振り返りカード点検＞ ・「できること」や「できないこと」について、進んで尋ねたり紹介したりしている。【コ】＜行動観察・ワークシート点検・振り返りカード点検＞

2-Lesson 3 I can swim. 1/4 時間 目 標 動作を表す語や「できる」「できない」という表現を知り、言語にはそれぞれに違いがあることに気付く。 準 備 教師用絵カード（動作）、デジタル教材、（振り返りカード）
--

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル Animal 編)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材 Hi, friends! Plus
○「先生のできること・できないことを知ろう。」 ・指導者の「できること」「できないこと」の紹介を聞く。 ・play を使った動作表現や swim, cook などの表現を知る。 ・指導者の質問に Yes/No. で答える。	・教師用絵カードを見せながら、「できること」「できないこと」を紹介する。 ・play は、スポーツだけでなく演奏も表せることや、swim のように一語だけで動作を表せるものもあることに気付かせる。また、play the piano/recorder と、play soccer/baseball では、言い方が少し違うことにも気付かせるようにする。ただし、気付かせる程度にとどめ、文法知識等を教え込むことは避ける。 ・表情やジェスチャーをつけて言うことで、can と can't の意味の違いに気付かせる。 ・動作表現を紹介しながら児童にも Can you ~? と尋ねる。 ※評価	教師用絵カード（動作） デジタル教材
【Let's Play 1】 p. 10 ・ポインティングゲーム①②をする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 5 参照) ・指導者が言う動作の絵をさし示す。	・誌面にある動作表現を、I can ~. を使って言う。 ・児童の様子を見ながら何度も聞かせ、児童全員が絵をさし示した後に、教師用絵カードを提示して確認する。	教師用絵カード（動作） デジタル教材
○ジェスチャーゲームをする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 30 参照) ・指導者や代表児童のジェスチャーを見て、何の動作かを言い当てる。 ・指導者の質問に答える。	・誌面の絵にある動作のジェスチャーをして、何の動作かを考えさせる。 ・何のジェスチャーか当てた児童に、その動作について Can you ~? と尋ねる。 ・慣れてきたら、代表児童を出題者にする。	教師用絵カード（動作） デジタル教材
【Let's Listen】 p. 11 ・音声教材を聞いて、誌面の絵を、登場人物ができるものは○で、できないものは△で囲む。	・登場人物の名前を確認し、これまでの登場人物の様子からそれぞれがどのようなことができるか予想させ、音声教材を聞かせる。 ・聞き取りにくい児童には、誰と誰の会話なのかを説明したり、文と文の間に間を取って繰り返し聞かせたりする。	デジタル教材
○「アルファベットを書こう。」 ・参考例にならって、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞる。 ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて、3文字だけ書く。授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。 ・挨拶をする。	ワークシート 3 枚 ⑤-1/2/3 振り返りカード

2-Lesson 3 I can swim. 2/4時間 目 標 動作を表す語や「できる」「できない」という表現に慣れ親しみ、できるかどうかを尋ねたり答えたりする表現を知る。 準 備 教師用絵カード（動作）、デジタル教材、（振り返りカード）

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル Animal 編)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材 Hi, friends! Plus
【Let's Play 1】 p. 10 ・ポインティングゲーム①②③をする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 5 参照) ・①②の時は、さし示しながら指導者の後について繰り返して言う。 ・③は、ペアになり1つの誌面を使って行う。 ・can と can't の違いを聞いてさし示す。	・誌面にある動作表現を言う。 ・ひととおり動作表現を確認したら、I can ～. と言ったらさし示すが、I can't ～. のときはさし示さないようにし、違いを意識させる。 ※評価	教師用絵カード（動作） デジタル教材
【Let's Play 2】 p. 11 ・指導者が紹介する、できることやできないことを聞いて、誌面の人物5人のうち誰のことか当てる。 ・指導者のクイズを参考にグループでクイズを作る。各グループのクイズに全員で答える。	・Let's Listen の登場人物5人のうち1人になりきって、できることやできないことを紹介する。 ・2人分ほど、指導者が行い、後はグループでクイズを作らせる。各グループに発表させ、みんなで答えを考えさせる。 ※評価	デジタル教材
【Let's Chant】 “Can you swim?” p. 12 ・音声教材を聞き、教師用絵カードを見ながら言う。	・音声教材を聞かせ、教師用絵カードを見せながら一緒に言う。	教師用絵カード（動作） デジタル教材
○「○×クイズ」をする。 ・指導者（またはほかの先生など）のできること、できないことを予想して○×に分かれる。 ・指導者に Can you ～? と尋ねて答えを確かめる。	・教師用絵カードを見せながら、できる（○）かできない（×）か予想させ、教室内の右（○）左（×）に分かれさせる。 ・児童に、Can you ～? でそれができるかどうか指導者に尋ねさせ、Yes, I can./No, I can't. で答える。（または、校内のほかの先生になりきって答える。）	教師用絵カード（動作）
○「アルファベットを書こう。」 ・参考例にならって、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞる。 ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて、3文字だけ書く。授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。 ・挨拶をする。	ワークシート 3 枚 ⑤-1/2/3 振り返りカード

2-Lesson 3 I can swim. 3/4 時間
目 標 できるかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
準 備 デジタル教材, 教師用絵カード (動作), ワークシート (できること紹介シート), (振り返りカード)

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル Animal 編)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材 Hi, friends! Plus
【Let's Chant】 “Can you swim?” p. 12 ・音声教材を聞き、教師用絵カードを見ながら言う。 ・質問部分と答えの部分に分かれて言う。	・音声教材を聞かせ、教師用絵カードを見せながら一緒に言う。 ・質問部分と答えの部分で、言う人を分ける。	- 教師用絵カード (動作) - デジタル教材
【Activity 1】 p. 10 ・ペアになり、誌面の 11 種類の動作について、相手ができるかどうかを予想して欄に○や△を書く。 ・空欄には相手に尋ねてみたいことの絵を描き、予想を書く。 ・予想し終わったら、Can you ~? でインタビューし合う。 ・結果を欄に○や△で書く。	・11 種類の動作について、普段の会話や様子を手がかりに、相手ができるかどうかを予想させることで、相手に尋ねたいという必要感をもたせて、インタビューさせる。 ・全ての動作について No, I can't. と答えそうな児童をあらかじめ想定しておき、インタビューのときに声がけをして自信をもたせるようにする。 ※評価	デジタル教材
○Who am I? クイズをする。 ・指導者の紹介を聞いて、学級の誰のことが当てる。 ・次に、指導者に Can you ~? で尋ね、その答えから誰のことが当てる。	・前活動 Activity 1 のインタビュー結果を使い、ある児童になりきり、できることやできないことを I can ~ / I can't ~. で紹介し、それがどの児童のことが推測させる。 ・次に、児童に Can you ~? で質問させ、インタビュー結果をもとに答え、その答えから学級のどの児童のことが推測させる。 ※評価	教師用絵カード (動作)
【Activity 3】 p. 13 ・自分ができることを考え、ワークシートにその絵を描く。 ・代表児童ができることを紹介する。	・ワークシートを配付する。 ・誌面にない動作の絵を描いても良いことを告げる。 ・できることに自信をもてない児童の支援をしながら、描いている絵が少ない児童を把握しておく。 ・代表児童にできることを紹介させる。	- ワークシート (できること紹介シート) - デジタル教材 (誌面にない動作を辞書機能で調べることができる)
○「アルファベットを書こう。」 ・参考例にならって、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞる。 ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて、3 文字だけ書く。授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。 ・挨拶をする。	- ワークシート 3 枚 ⑤-1/2/3 - 振り返りカード

2—Lesson 3 I can swim. 4/4 時間 目 標 自分ができることを考え、友達と積極的に交流しようとする。 準 備 教師用絵カード（動作）、前時に作成したワークシート（できること紹介シート）、デジタル教材、（振り返りカード）
--

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル Animal 編)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材 - Hi, friends! Plus
【Let's Chant】 “Can you swim?” p. 12 ・音声教材を聞き、教師用絵カードを見ながら言う。 ・質問と答えに分かれて言う。 ・質問部分を全員で言い、答えの部分を代表児童が言う。	・音声教材を聞かせ、教師用絵カードを見せながら一緒に言う。 ・質問部分と答えの部分を言うグループに分ける。 ・代表児童を指名する。	教師用絵カード（動作） デジタル教材
【Activity 2】 p.12 ・誌面を持って教室を歩き回り、出会った友達に Can you ～? で尋ねる。 ・できると答えた児童から誌面にサインをもらう。 ・その後、インタビューして気付いたことを交流する。	・多くの友達にインタビューしてみたいという気持ちをもたせる。 ・出会ったときの Hi. や別れるときの Thank you. Bye. などの挨拶を大切にさせる。 ・活動後、インタビューしてみて意外だったことや気付いたことなどを発表させる。 ※評価	デジタル教材
【Activity 3】 p. 13 ・指導者の話を聞いて、指導者（または、ある児童）のできることを考え、日本語あるいは、知っている英語の単語で伝える。 ・ペアやグループの友達どうして、相手のできることを You can ～. で伝え合う。 ・誌面の絵を見ながら音声教材を聞き、自分ができていることを考え直す。 ・前時に作ったワークシートを見直し、必要があれば修正やつけ加えをする。 ・グループになり、ワークシートを使って自分ができていることを紹介し合う。 ・誌面にない動作表現を言うときは、ジェスチャーをつけて言ったり、補足したりして、聞く人に伝わるようにする。 ・代表児童が、全員の前で発表する。	・「指導者（または、ある児童）が、できることが少なく困っている」という話をし、その人ができる（と思われる）ことを発表させる。 ・ペアやグループの友達どうして、できる（と思われる）ことを伝え合わせる。 ・誌面の絵を見せながら、音声教材を聞かせ、自分ができていることを前向きに考えさせる。 ・ワークシートを修正させる。 ・発表の仕方の例を紹介し、グループで交流させる。 ・代表児童に発表させる。 ※評価	前時に作成したワークシート（できること紹介シート） デジタル教材
○「アルファベットを書こう。」 ・参考例にならって、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞる。 ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて、3文字だけ書く。授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。 ・挨拶をする。	ワークシート 3 枚 ⑤-1/2/3 振り返りカード